

**お知らせ フェスティバル**

**男女共同参画フェスティバルを開催します！**

平成29年 **6月24日(土)**

男女共同参画について理解を深めていただくため、県と群馬県女性団体連絡協議会との共催で“フェスティバル”を開催します。バザー、健康相談、お子様に人気のバルーンアートなど盛りだくさんの催しです。ぜひお出かけください。

**●内容●**

★10:00～12:00 (1～4階)

- 植木鉢花・バルーンアート・グッズ配布・クイズラリー
- 絵本読み語り (東北の震災で亡くなった女の子の実話)
- 展示 (各団体活動)
- 健康相談 (お薬相談、血圧測定、骨密度測定など)
- お茶席
- バザー (地場産やさい、パン、手作り品など)
- アロマ製作体験 “癒しの彩り空間”

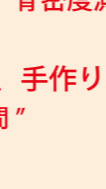
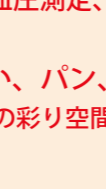
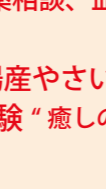
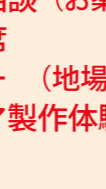
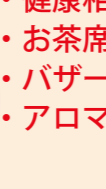
★13:30～15:30 (4階 大研修室)

★シンポジウム  
「ぐんまの元気は女性の活躍から パートIV」

- 基調講演  
岡本 峰子さん (朝日新聞社 前橋総局長)
- コーディネーター  
長安 めぐみさん (群馬大学 男女共同参画推進室コーディネーター・講師)
- パネリスト  
岡本 峰子さん (朝日新聞社 前橋総局長)  
天田 亮介さん (NPO 法人ブレインファーム理事長)  
坂田 達也さん (群馬県広報課 ぐんまイメージアップ推進室長) ほか

主催：群馬県女性団体連絡協議会 共催：群馬県・群馬県人権啓発活動ネットワーク協議会

どなたでも大歓迎！



●昨年ようす (バザーほか)

●昨年ようす (シンポジウム)

ぐんまちゃんも待ってるよ!!

**セミナー報告**

**5/26 (金) 平成29年度県新規採用職員研修**

講師：大森昭生教授  
(共愛学園前橋国際大学学長・ぐんま男女共同参画センターアドバイザー)

今年度の新規採用職員 135 名を対象に、「男女共同参画」についての研修を県自治研修センター(前橋市大渡町)で実施しました。

男女共同参画社会づくりは、県職員として行政に携わるにあたり全ての職員が理解しておかなくてはならない課題です。

研修では、男女共同参画社会に関する基礎知識のほか、性別役割分業の変遷と現実、分業意識がもたらす様々な問題、男女共同参画社会の視点での職場環境整備について学びました。

男女共同参画に関係のない部署はありません。男女共同参画社会づくりはあらゆる場面に係る課題だということ認識し、業務に取り組む姿勢が県職員には必要なのです。



毎年6月23日から29日は『男女共同参画週間』です。



※「えるぼし」とは 女性活躍推進法に基づき、厚生労働大臣が「女性活躍推進に関する取組状況が優良」と認めた企業であることを示すマーク。企業は認定マークを商品や広告、名刺などに使用することができる。

**子育て 参画セミナー**  
**ほめて育てる (ほめトレ)**  
**コミュニケーション・トレーニング入門**

【日時】平成29年  
**7月1日(土)**  
13:30～15:30

より良い親子関係を築くことを目的に「ほめる、認める、共感する」コミュニケーションの方法と、大きな声を出したりせずに、しつこく効果的に行う方法を学ぶ講座です。



【場所】群馬県社会福祉総合センター2F  
203AB 会議室  
(前橋市新前橋町 13-12)

【講師】竹淵 亨さん (前橋市子育て支援課職員)  
【対象】どなたでも! (ご家族でどうぞ!)  
【定員】30人 (先着順)  
【費用】無料

**セミナーの申込み先** (住所、氏名、電話番号をぐんま男女共同参画センターへご連絡ください)  
電話 **027-224-2211** FAX **027-224-2214** メール [sankakuse@pref.gunma.lg.jp](mailto:sankakuse@pref.gunma.lg.jp)

**LGBT**ってなんだろう?

とらいあんぐるん LGBT 講演会

～互いの違いを受け入れあえる社会を目指して～

LGBT (同性愛者や性同一性障害者などの性的少数者) は約 13 人に 1 人といわれる、とても身近なマイノリティです。しかし可視化されづらいマイノリティだからこそ、“みんなと違う”ことを幼少期から感じ、葛藤してきた人は少なくありません。そんな LGBT の大学生・若者が、“誰かと違う”ことを受けとめ受容した経験や、人と違うからできた経験・体験・学びを伝えることで、「みんなちがって、みんないい」「みんなとちがって、それがいい」を体感できる講演会を行います。



【日時】平成29年  
**7月20日(木) 13:30～15:00**  
【場所】ぐんま男女共同参画センター

【日時】平成29年  
**8月6日(日) 14:00～15:30**  
【場所】笠懸公民館 交流ホール (笠懸町阿左美 1581-1)

【講師】NPO 法人 ReBit メンバー  
【対象】どなたでも!  
【定員】100人 (先着順)  
【費用】無料



**まめ知識**

**持続可能な自治会活動と、担い手の多様化**

少子高齢化や人口減少、地域の自然的、社会的な環境の特性を背景に、地域課題も多様化します。地域を支える自治会の活動や、その担い手(会長・役員等)も、将来的には多様化せざるを得ないことが予想されます。多様な担い手を確保するためには、住民の約半数を占める女性をもっと活用する、という視点も重要になります。

内閣府が全市区町村を対象としたアンケート調査結果によると、自治会長に女性になることの「メリット」と「難しい理由」として回答が多かったのは右表のとおりです。

持続可能な自治会活動のためにも、男女双方の意識や働き方の改革、固定的性別役割分担意識(※)の解消が必要ながことが伺えます。

※「固定的性別役割分担意識」とは? 性別を根拠にして、役割を固定的に考えてしまうことです

**「女性が自治会長になること」について**

	順位	回 答	回答割合
メリッ ト	1位	運営に多様な視点が生まれる	77.0%
	2位	地域をよく知っており、細かい配慮のある運営ができるようになる	42.8%
	3位	地域の人的ネットワークがあり、多様な人・組織との連携が生まれる	36.3%
難しい理由	1位	女性自身の意識(女性会長への意欲、女性会長に対する女性の視線等)	71.8%
	2位	男性自身の意識(女性が会長になることに対する抵抗感等)	51.2%
	3位	家事・育児・仕事等により会長の仕事をこなす時間がない	36.9%

(内閣府男女協働参画局「持続可能な自治会活動に向けた男女共同参画の推進について」(平成29年3月)による)

ホームページも見てね (「とらいあんぐるん」で検索できるよ)